

（例）

適性検査Ⅱ

注 意

- 1 問題は①のみで2ページにわたって印刷してあります。
- 2 検査時間は四十五分で、終わりは午前〇時〇〇分です。
- 3 声を出して読むはいけません。
- 4 解答はすべて解答用紙にはっきりと記入し、**解答用紙だけを提出**しなさい。
- 5 解答を直すときは、きれいに消してから、新しい解答を書きなさい。
- 6 **受検番号**を解答用紙の決められたところに記入しなさい。

八王子地区中高一貫6年制学校（仮称）

次の文章を読み、あとの問いに答えなさい。

昔、[※]聖^{せい}アウグスティヌスは時間について聞かれたとき、「聞かれない間はよくわかってるのに、聞かれるとどう答えていいかわからない」と返答したそうです。確かに、「時間って何？」という質問に対して、「これこれこういうものだ」とはっきり答えることはできません。時間は、形がなくて目には見えないし、勝手に止めたり動かしたりできないし、こういうものだとかかわりのものを差し出すこともできないからです。しかし、^{わたたくし}私たちは、時間に追いかけられたり、時間と競争したりして生きています。時間のことをすっかり忘れて夢中で何かをしていることもあるし、時間のこと^わが気になってそわそわしているときもあります。

ここでちょっと立ち止まって時間のこと^をに思いをめぐらすことにしましょう。おろん、立ち止まるといっても時間は止まってくれませんか。時間[※]は^{ようしや}容赦なく流れていくからです。でも、時間の不思議や歴史について考えると、時間の大切さがわかってくるのではないのでしょうか。私たちは時間の旅人なのですから。

私たちが時間を感じているときを思い出してみよう。毎朝、大あわてで起こされ朝食を食べて駆けだしていくのは、学校の始業時間が定められていて、それに^{ちこく}遅刻するわけにはいかないからです。一〇〇メートル競走では一〇秒足らずの時間を^{きせ}競いあっています。お腹^{なか}がすくと腹時計^{はらどけい}がグウグウ鳴るし、待ち合わせのときは時間が気になって仕方がありません。小説を読んだり、映画^{えいが}を見たりしたときは、知らぬ間に物語が進む時間に^こ引き込まれています。宇宙^{うちゅう}や地球には何十億年という長い時間の歴史があり、生命も時間とともに進化してきました。このように、私たちは、さまざまな時間に^こ囲まれて生きています。

そもそも時間っていったい何なのでしょう。私たちに^はとって時計で測る時間^はが一番身近ですが、太陽の動きで測る一日があり、日曜日から土曜日までの一週間があり、春夏秋冬の一年は一ニカ月、というふうな時間には区切りがつけられています。これらはカレンダーの規則的な時間です。では時間はいつも同じ速さで流れているのでしょうか？ 映画やビデオで、種^まを蒔いてから、芽^かが出て、茎^{くき}が伸び、葉^のが出て、花^がが咲き、やがて枯^かれてしまう、という植物の一生をたった一分に^{たんしゆく}短縮したのを見たことがあります。長い時間を

短く[※]約めて映した^{うつ}ものです。逆に、野球のバッターがボールを打つ瞬間^{しゆんかん}や素早い^{すばや}猛獣^{もうじゆう}の動きをスローモーションで再生したりしています。これらは短い時間を長く引き延ばしているのです。このように^①時間は長くなったり短くなったりしないのでしょうか？ あるいは、フィルムを逆回しにすると元の状態^{もと}に戻るのですが、時間の流れる向きが反対になって昔に戻ることはない^②のでしょうか？

また、違った^{ちが}時間もあります。夜に夢を見たとき、場面があちこちに飛んだり、ずいぶん前のことなのに今起こっているように展開^{てんかい}します。夢の中では違った時間が流れているとしか思えません。起きているときでも、叱^{しか}られているときは時間が長く感じられるのに、遊園地で楽しく遊んでいるときはあっという間に時間が過ぎ去ってしまいます。アレコレと想像したり、昨日のことを思い出したりしていると長い時間が経^たったように感じるのでありますが、ほんの数秒であったこともたびたびありました。^③心が感じる時間の流れもいろいろあるのでしょうか？

こんなふうに、私たちは多くの違った時間を生きていることも確かかなようです。

(池内了「時間とは何か」)

ことばの説明

※ 聖^{せい}アウグスティヌス：西洋の文化に大きな影響^{えいきやう}を与え^{あた}た人物の一人。

※ 容赦^{ようしや}なく：こちらの事情に関係なく、どんどんと。

※ 約^{ちつ}めて…縮^{ちぢ}めて。

【問題一】 文章全体を、四十字以上六十字以内で要約しなさい。なお、や。は、それぞれ字数に数えます。

【問題二】 筆者は、この文章で時間に関する疑問^{ぎもん}を読者に投げかけています。―線①③の疑問の一つについて文章を書きましよう。題は「時間の不思議」として、身近な具体例を挙げて四百字以上五百字以内で書きなさい。なお、次の「きまり」にしたがいなさい。

〔きまり〕

- 選んだ番号を指定されたらんに書きます。
- 最初の行から書き始めます。
- 各段落の最初の字は一字下げて書きます。
- 段落をかえたときの残りのます目は、字数として数えます。
- 、や。や「なども、それぞれ字数に数えます。